

鳥取市 多様な広域連携促進事業概要



関係地方公共団体	
提案市：鳥取市、193,717人、765.31km ²	(資料：国勢調査(総務省)、令和2年全国都道府県市区町村別面積調(国土地理院))
連携町：岩美町、11,485人、122.32km ²	八頭町、16,985人、206.71km ²
若桜町、3,269人、199.18km ²	兵庫県香美町、18,070人、368.77km ²
智頭町、7,154人、224.70km ²	兵庫県新温泉町、14,819人、241.01km ²

提案・連携する市町の特長	<p>○古くから生活圏・経済圏を一体とする地域で、移住定住促進、観光振興、医療・福祉等の各施策分野で連携の実績が豊富。</p> <p>○圏域をエリアとする山陰海岸ジオパークがユネスコ世界ジオパーク認定を受けているほか、連携の取組が認められ、令和元年5月に麒麟獅子舞をはじめとする圏域の文化財で構成するストーリーが日本遺産に認定された。</p>
--------------	---

提案概要	事業見積額(千円)
<p>○圏域のコロナ対策を踏まえた医療課題等の抽出・分析と協力体制構築の検討</p> <p>○圏域の資源を生かしたSDGsの視点を踏まえた新たな取組(専門人材確保・事業承継・ワーケーション、ICT技術の導入)の可能性の分析・検討</p>	9,899

取組内容

圏域の人口動態・都市機能の利用実態等の分析

第2期のビジョンの取組の再構築・新たな展開にあたり、圏域の各自治体の人口ビジョンと創生総合戦略の改定等を踏まえ、圏域の現在の人口動態・都市機能の利用実態や、産業構造等の分析を行う。

圏域のコロナ対策を踏まえた医療課題等の抽出・分析と協力体制構築の検討

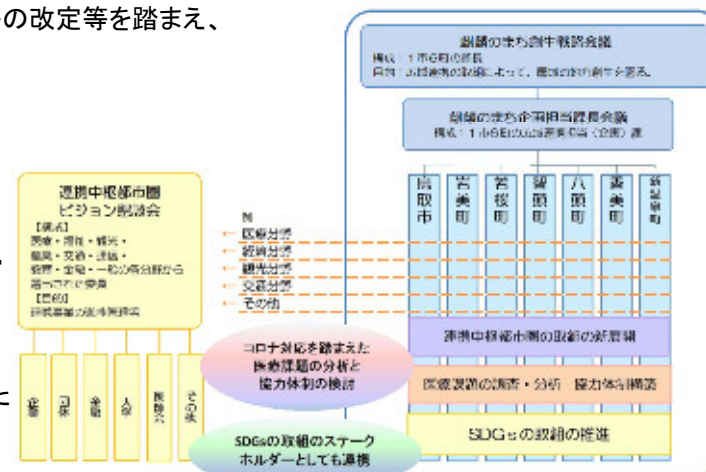
圏域自治体病院が担う二次医療圏をはじめとする医療に係る将来推計と課題等について、圏域市町の医療機関、住民、関係機関を対象としたアンケート・ヒアリング、意見交換を行い、課題等の抽出・分析を行う。

さらに、コロナ対応で顕在化した医療政策単位と生活圏の違いによる医療課題について、各課題の抽出・分析を行い、圏域における協力体制構築等の検討を行う。

圏域の資源を生かしたSDGsの視点を踏まえた新たな取組の可能性の分析・検討

専門人材確保や事業承継の取組、ワーケーションをはじめ、ICT技術の導入など、SDGsの視点を踏まえた新たな連携の取組を検討する。

また、既存事業についても、SDGsの視点を踏まえた見直しを行うとともに、短期的・中長期的に取り組むもの、連携分野や連携の仕方による分類を加えるなど、第2期のビジョン改定にあたり取組の再構築を行う。



多様な広域連携促進事業
提案書

取組	
取組概要	①因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏域の人口動態・都市機能の利用実態等の分析 ②圏域のコロナ対策を踏まえた医療課題等の抽出・分析と協力体制構築の検討 ③圏域の資源を生かした SDGs の視点を踏まえた新たな取組（ICT 技術の導入・専門人材確保・事業承継・ワーケーション・等）の可能性の分析・検討 ④第 2 期ビジョン（案）の作成
事業費	9, 8 9 8, 6 8 4 円
実施期間	契約締結の日から令和 4 年 2 月 2 8 日

提案者	
団体名	鳥取県鳥取市
団体住所	鳥取市幸町 7 1 番地
団体責任者の職・氏名	鳥取市長 深澤義彦

提案者連絡先	
担当者の所属	鳥取市企画推進部政策企画課
担当者の職・氏名	
電話番号	0 8 5 7 - 3 0 - 8 0 1 3
F A X 番号	0 8 5 7 - 2 0 - 3 0 4 0
電子メールアドレス	kikaku@city.tottori.lg.jp

※ 複数団体で連携して提案を行う場合は、提案者については、1つの提案書にまとめて記載し、提案者連絡先については、代表団体の連絡先を記載すること。

1 今回提案する取組について

(1) 取組の目的及び内容について

目的	<p>本圏域は、鳥取県東部1市4町及び兵庫県新温泉町が連携する定住自立圏の取組に始まり、鳥取市の中核市移行に伴う連携中枢都市圏の形成、兵庫県香美町の圏域への新たな参画と、地方創生を中心に捉えた連携の取組を進めてきた。</p> <p>これまで、広域観光や移住定住の推進、特産品等の販路拡大などを中心に進めてきたが、新型コロナウイルス対応など社会情勢が大きく変革する中で、連携の取組についても、これらに対応した新たな視点での連携の取組の可能性を検討し、圏域住民の生活を守る連携体制の構築を図ることを目的とする。</p>
取組内容	<p>①因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏域の都市機能の利用実態等の分析</p> <p>本圏域は、平成30年4月に鳥取市の中核市移行に伴って圏域を形成しており、令和4年度までの取組を掲載したビジョンを策定している。第2期のビジョンの取組の再構築・新たな展開にあたり、圏域の現時点の人口動態や産業構造等の調査を行う。また、近年整備が進んだ道路の状況や、利用者の減少や路線の縮小等の課題が生じている公共交通など、都市機能の利用実態等の分析を行う。</p> <p>②圏域のコロナ対策を踏まえた医療課題等の抽出・分析と協力体制構築の検討</p> <p>圏域自治体病院が担う二次医療圏をはじめとする医療に係る将来推計と課題等について、圏域市町の医療機関、住民、関係機関を対象としたアンケート・ヒアリング、意見交換等を行い、課題等の抽出・分析を行う。</p> <p>さらに、コロナ対応で顕在化した医療政策単位と生活圏の違いによるに係る医療課題の抽出・分析を行い、圏域における協力体制構築等の検討を行う。</p> <p>③SDGsの視点を踏まえた新たな取組の可能性の分析・検討 (ICT技術の導入・専門人材確保・事業承継・ワーケーション)</p> <p>RPAやチャットボットなどICT技術の導入や遠隔医療の推進の可能性の検討など、来るべきSociety5.0社会を見据えた取組の推進や、専門人材確保や事業承継の取組、ワーケーションなどの新たな取組など、SDGsの視点を踏まえた新たな連携の取組を検討する。</p> <p>また、既存の90事業を見直すにあたり、短期的・中長期的に取り組むもの、連携分野や連携の仕方による分類を加えるなど、取組の再構築を行う。</p> <p>④第2期ビジョン(案)の作成</p> <p>上記①～③を踏まえた圏域として共有する指標・目標値等を盛り込んだ第2期の圏域ビジョン(案)の策定に取り組む。</p>

(2) 新規性

◆連携中枢都市圏ビジョンの改定にあたり、ウィズコロナ・アフターコロナを意識した連携中枢都市圏の取組の再構築が求められている。コロナ対策や、公共交通の維持確保対策など、政策単位と生活圏の違いによる課題にも焦点を当てた新規性のある取組である。

◆構成自治体の1つである智頭町はSDGs未来都市であり、また本市もSDGs未来都市申請を行っている。両自治体の取組の横展開等による圏域におけるSDGsの推進は、連携中枢都市圏の目指す「圏域の持続的な発展」と方向性を同じくするものであり、圏域における地方創生の原動力となる取組への発展が期待できる。

また、将来のSociety5.0社会を見据え、RPAやチャットボットなどICT技術の導入や遠隔医療の推進の可能性を検討していく新規性のある取組である。

現在の圏域におけるSDGsの達成に資する取組例



生活圏を同じくする圏域自治体が日頃から連携
(SDGs ターゲット 17.17)



こども食堂も圏域でサポートを実施
(SDGs ターゲット 2.1、4.14.5)



病児・病後児保育施設の圏域での共同利用
(SDGs ターゲット 3.2、4.2)

(3) 効果

◆第2期のビジョンの取組の再構築・事業の見直しにあたり、SDGsの視点を踏まえ、公私を含めた連携体制の動きを加速させるものである。

また、専門人材の確保、事業承継の推進、ワーケーションの取組など、新たな取組を検討する中で、地域の関係者との協力体制の構築を図るものである。

◆短期的・中長期的に取り組むもの、連携分野や連携の仕方による分類を加えるなど、第2期のビジョン改定にあたり取組の再構築を行う。

◆圏域の人口動態、産業構造や地域におけるさまざまな資源の実態について、2020年国勢調査の速報値の活用をはじめ各種統計等からの直近の分析・評価を行うとともに、この分析・評価を基にした地域の中長期的な変化や課題の見通しを整理し、効果的な施策や方針を検討する。

(4) 継続性

- ◆本委託事業では、圏域の現時点の人口動態・都市機能の利用実績、産業構造等の分析、医療課題の抽出・分析等を行い、本事業の成果を第2期のビジョン策定に活用することによって、取組の再構築・新たな展開を目的としている。
- ◆コロナ対応をはじめ、根本的な地域の医療需要の将来推計の分析と、今後の2次医療圏に求められる供給体制の検討は、今後の連携の取組に資するものである。
- ◆構成自治体だけでなく、SDGs の取組における関係機関（ステークホルダー）との役割分担による継続した取組を検討していくものである。

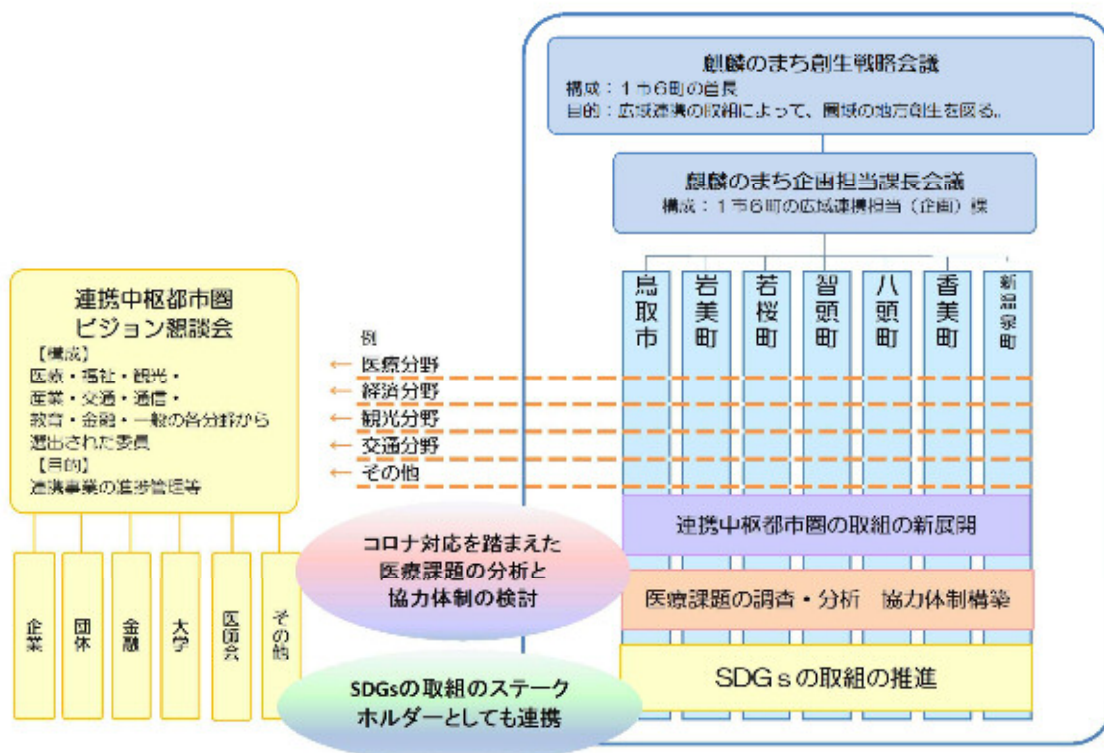
(5) 全国展開の可能性

- ◆2次医療圏をはじめとした医療課題の分析と解決策の検討については、コロナ禍において全国的に共通するものであり、圏域内の協力関係の構築につなげていくことができれば、他の地域にも応用されるものとする。また、県をまたぐ圏域の医療需要の将来推計の分析と、今後の2次医療圏に求められる供給体制の検討は、他地域での展開の際にモデル事例となり得る。
- ◆ICT 技術の導入や遠隔医療の推進の検討、地域の専門人材の確保・事業承継の取組、また関係人口や交流人口の拡大を図るワーケーションの取組など、地方創生のさらなる深化を図る連携の取組は、他地域においても同様の高い効果が見込まれる。
- ◆連携事業の再構築にあたり SDGs の視点を踏まえたものとするにより、構成自治体だけでなく地域の関係機関（ステークホルダー）とのさらなる連携を図っていくことは、全国展開につながる取組である。

(6) 関係者との連携体制の構築状況

◆本圏域では、圏域の自治体の首長で構成し、連携における地方創生に取り組む「麒麟のまち創生戦略会議」を設置しており、また実務レベルでは「麒麟のまち企画担当課長会議」を設置し、連携のあり方全般について随時検討する体制をとっている。さらに、各分野から選出した委員で構成する連携中枢都市圏ビジョン懇談会を設置しており、構成自治体における各分野の関係者との連携体制があり、今後取り組もうとする事業についても連携の素地がある。

◆また、令和元年に認定となった日本遺産の取組において、圏域における応援企業等に連携の幅が広がっており、今後の取組を発展させていく素地がある。



多様な広域連携促進事業 事業実施計画工程表

提案団体名	鳥取市(岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、香美町、新温泉町)
-------	-------------------------------

年月 実施内容	令和3年								令和4年	
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
都市機能利用実態分析等業務			 ○調査事業の実施(圏域の人口動態・都市機能の利用実績、産業構造等の分析) ○関係者意見交換会							
医療の将来推計と課題抽出業務			 ○調査事業の実施(医療分野の将来推計と課題抽出、コロナ対応の課題抽出と分析) ○関係者意見交換・ヒアリング							
SDGsの視点を踏まえた新たな取組の可能性の分析・検討			 ○調査事業の実施(Society5.0の推進や事業継承、ワーケーションなど新たな取組検討) ○関係者意見交換・ヒアリング							
構成市町首長会議	○第1回(委託事業の実施について)					○第2回(委託事業中間報告)			○第3回(実績)	
構成市町課長会議	○第1回(委託事業の進め方について)					○第2回(委託事業中間報告)			○第3回(実績)	

※1 提案団体名について、複数の団体で連携して取り組む場合、代表団体とその他の団体(後者は括弧書き)に分けて記入すること。

※2 実施内容の行にあわせて、等を挿入し、実施期間を表すようにすること。